

いつも当研究会へのご支援・ご協力頂き誠にありがとうございます。

今回のNews Letterは、昨年11月に開催されました研修会について西川満則理事よりご報告と次回研修会に向けてコメントが届いております。

また、今年1月から第9回年次大会のプレ企画が始まりました。プレ企画は2ヶ月おきに開催されます。

ご確認のほど、よろしくお願いいたします。

2016年に任意団体として発足し早9年目をむかえた「一般社団法人日本ACP研究会」ですが、国内で唯一のACPのみに特化した研究会として、今年で第9回の年次大会をむかえ、着実に歩みを進めて参りました。

◆ 次回研修会について

来る2025年2月頃、十分な準備期間の後にオンライン開催の予定です。研修内容は、先進病院がACPの課題をどのように乗り越えてきたのか、失敗談を踏まえたACPの体制づくりを学ぶ参加型研修です。ACPを実践している病院関係者が主な対象です。病院におけるACPの体制づくりに感心がある人であれば、どなたでも参加できます。2016年と2017年、E-FIELD研修プログラムを受講後に、病院をあげてACPの体制づくりに挑んだ、西岡病院、春日井市民病院のスタッフがそのノウハウを余すところなく提供いたします。是非とも、個人で、あるいは、病院のコアチームでご参加ください。

◆ 第1回目の研修会を開催して

2023年の新たな試みとして、会員のリアルな研修ニーズを探索するためのパイロットACP研修会を実施いたしました。その結果として、近年、ACPを推進しようとする個々人のマンパワーは増加しているものの、病院における体制づくりに課題があり、その研修の実施に高い関心が寄せられました。そこで、我々日本ACP研究会は、病院におけるACP連携の体制づくりをメインテーマとして、ACP研修を推し進めていくことにいたしました。

地域ACPを実装するにあたり、地域のどの事業所からでもACPの体制づくりは可能ですが、日本ACP研究会は比較的困難な課題である、病院における、あるいは、病院を起点とするACP実装に注力して参ります。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

オンライン研修にて
実践報告いただきました

実践報告④

「相談があるから来て欲しい」と電話連絡ありご訪問。
(マンションの裏側)で死んだ時、エレベーターにそのまま乗れる「置死とかけるはめにならないわ」等の心配事を話される。
解決していくも、すっきりしない様子。息切れもあり、「また来てご希望あったら、日を改める。その後2日おき程度に3回ほど訪問。1回おきで「実は妻に苦しみだり辛い姿を見せたくない。それ出来るだけ家にいたい。苦しい日もある。だから迷う。」「あいつ亡くなったの直前で、それでいいと思ってい死んでほしい」と話される。実化する体調や状況は合わせ、何が望ましいかの都度相談している。主治医や訪問看護師、ケアマネジャーにもM様の思いを共有さうことを了解いただく。また、ご本人の不安感から念のためにとい、バックアップ登録をG病院にすることとなる。ようやく少し安心様子。妻にもG病院の登録を伝える(なんとなくわかっていた?)。



執筆者：西川満則 理事

病院 概要

床 (感染6床)
日数 11.0日
R 76.0%
見込件数 9,410件
75.0%
101.0%
件数 1475件
(令和4年度)



- ◆ 地域医療支援病院
- ◆ 認知症がん診療拠点病院
- ◆ 地域中核災害拠点病院
- ◆ DMAT指定医療機関

春日井市民病院



■ 第9回年次大会に向けてプレ企画をスタートしました！

【大会長】福田直之 氏（札幌総合法律事務所 弁護士）
澤田 格 氏（西岡病院内科部長 医師）

すでにホームページ等でご案内の通り、次回第9回年次大会は9月21日(土) 北海道札幌市で4年ぶりに集合開催で行います（懇親会も開催予定です）。

この時期の札幌は市内中心部の大通公園にて毎年秋の味覚を堪能する「さっぽろオータムフェスト」が開催されており、こちらもぜひお立ち寄りください。

日本アドバンス・ケア・プランニング研究会 第9回年次大会

- * 日 程 2024年 9月21日（土）10時～17時（終了後、懇親会）
- * 会 場 北海道民活動センター（かでの2・7）
札幌市中央区北2条西7丁目
（JR札幌駅、地下鉄さっぽろ駅から徒歩約10分）
- * 開 催 集合開催（一部プログラムは後日オンデマンド配信）
- * テーマ 「ACPサイクルでつなぐ人生会議
～話す、残す、伝える、見直す～」
- * 内 容 講演（厚生労働省 他）、講演・演習（ロールプレイ）、
事例検討会、演題発表、ランチョンセミナー 等
- * 参加登録、演題登録は4月1日開始予定です。

■ プレ企画

年次大会に先がけて、プレ企画（すべてオンライン）を4回開催予定です。
1月19日（金）は「ACPにおける医療と法律の接点」と題して、医師、弁護士を含めた多職種の介入事例について、参加者と議論を行いました。全国から約170名が参加されました。

* プレ企画 その2

日時：2024年 3月15日（金）18：00～19：30

内容：急性期医療と介護施設とのACP

【お申込み】

締切り：3月8日（金）

こちらからお申込みください ➡ <https://forms.gle/mPUM5giJDQ2p8GAU7>

プレ企画 その2
参加受付中!!



* プレ企画 その3

日時：2024年 5月17日（金）18：00～19：30

内容：嚥下機能とACP

* プレ企画 その4

日時：2024年 7月19日（金）18：00～19：30

内容：ACP総合討論

プレ企画 その1 「ACPにおける医療と法律の接点」 受講者アンケートの回答

- ・法律の観点からACPを考えるきっかけをいただいた。（北海道／医師）
- ・弁護士の介入事例を聞け、参考になった。（福井県／看護師）
- ・事例や困難な点等を率直にお話して下さったので参考になりました。（千葉県／看護師）
- ・ACPというと最終段階の医療・ケアと考えがちですが、今日紹介していただいた定義のように、「すべての年齢層の成人、健康ステージを支えるプロセス」と伝えていったほうが市民に受け入れやすいのではないかと思います。（静岡県／保健師）
- ・事例検討や、実際の活動をご紹介いただけるのはとても勉強になりました。（北海道／薬剤師）
- ・普段ACPの場面で弁護士の先生が介入することがほぼないため、こういった支援や選択肢もあるのだととても勉強になった。（北海道／医療ソーシャルワーカー）
- ・ACPの事例、概念を多職種、多分野で共有しディスカッションできることが大切だと感じました。（神奈川県／医療ソーシャルワーカー）
- ・ACPについて難しく考えていたが日頃のコミュニケーションから聞いていく、繰り返す、見直すことが大事だとわかりました。（東京都／医療ソーシャルワーカー）
- ・多職種での質疑応答の場面が良かった。（広島県／地域包括支援センター）
- ・ACPの意識はあっても、なかなか実施は難しい状況があると思う。その難しさを具体的に話し合っ、話し合い方を模索するしかないと考えるため、このような機会は貴重です。（大阪府／大学教員）

各プレ企画、第9回年次大会の案内などは順次更新いたしますので、
当研究会ホームページからご確認ください。

http://jacra.umin.jp/acp_meeting9/index.html



募集

NEWSLETTER

NEWSLETTERに掲載する記事を募集しております。
地域のACPの活動等、掲載したい記事がございましたら、
事務局までご連絡ください。



一般社団法人

日本アドバンス・ケア・プランニング研究会

The Japanese Association for Clinical Research on Advance Care Planning

【事務局】〒474-8511 愛知県大府市森岡町7丁目430番地

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部内

☎0562-48-8456 E-mail : acp.study.group@gmail.com